資料 2.1；大連日本人学校　授業実践例（ふれあい天文学）

指導者　　佐藤　哲也

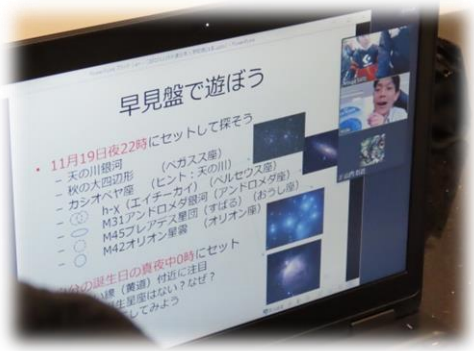
学年	中学部１年～３年	教科	理科
単元名	ふれあい天文学		
活用する ICT	プロジェクター（XGMI MOGO Pro）、PC（ZOOM）		

本時の目標

〇第一線で活躍している研究者の話を聞き、自分の将来について考える。

〇天文学の興味・関心を高める。

本時の展開

過程	学習活動	指導の工夫
導入 展開	１．講師紹介（国立天文台　野田　寛大　氏） ・自己紹介 ・仕事内容の紹介 ・宇宙について ・星空の観察の仕方  	・高機能スピーカー内蔵プロジェクターを使用した。 ・プロジェクターは斜めから投影した。
終結	２．まとめ ・講義の感想を書く。	

成果

高機能スピーカー内蔵タイプのプロジェクターを使用したことにより、プロジェクターを使ってPC画面を投影した際の「音」の問題を解消することができた。従来であればPC画面をプロジェクターにHDMI端子で接続すると、「音」はプロジェクター内蔵のスピーカーになってしまい、授業中の音の聞こえにくさに繋がっていた。

また、大型モニターではなくプロジェクターで投影したことで「MITAKA」（国立天文台が作成したソフト）で宇宙旅行をした際、大画面で暗闇の中だったので臨場感を味わうことができた。